

厳しかった夏の日差しも秋風とともに和らいできました。

この2か月、弊社は東京海上日動火災保険（以下、東京海上日動）をはじめとするパートナー企業のみなさまに協力をいただきながらインバウンドソリューション「QRHOTEL」プロジェクトを進めてきました。

沖縄や中部などにも足を運び、各地のホテル業界のみなさまとの交流も深めました。

今後も、インバウンドと地方創生の架け橋となるべく務めてまいります。

株式会社イー・ビジネス 代表取締役社長
花東江



【連載コラム】テクノロジーで日中を繋ごう（3）：「旅中サービス」というニーズ

株式会社イー・ビジネス 代表取締役社長 花東江

近年、訪日外国人の旅行形態に変化が起きています。一つは、リピート客の増加です。2018年のデータでは、リピート客が61%の割合を占めています。二つ目は、FIT客（海外個人旅行者）が団体客を大きく上回り、観光客の76%を占めるという点です。ヨーロッパでは個人客がほとんどを占めますが、中国でも観光ビザの発行緩和によりFIT客が大幅に増加しています。

旅には「旅前、旅中、旅後」という三つのプロセスがあります。中国では、旅前サービスとして「シートリップ」などの予約サービスの人気が高く、「コアラEC」「天猫」などのECサイトは旅先で買ってよかったものを後日越境ECで購入できます。しかしながら、旅中ニーズに対応するサービスはまだほとんどありません。

いま、中国では「说走就走的旅行＝思い立ったが吉日」的な旅が流行の兆しをみせています。このような非計画的な旅をするFITは「行き先を調べる、移動する、食べる、泊まる、買う、体験する」ためのサービスや口コミ情報など、旅中サービスとして求められるものはまだまだ多くあり、そうしたニーズへの対応が新たなビジネスチャンスを生むものと思います。

1. ホテル・旅館業界 IT&リノベーション展示商談会 に出展

9/4、「リゾートマーケティング」主催の「ホテル・旅館業界 IT&リノベーション展示商談会」の沖縄会場にて弊社サービス「QRHOTEL」について紹介しました。利用客データの蓄積、リピートにつながる仕組みとWeChatプラットフォームを通じた口コミ、シェアなどで集客増につながります。常に出し続ける必要がある広告よりも高い費用対効果が期待できます。

2020年3月には那覇空港第2滑走路が完成し、発着便数とともに観光客数も増加が見込まれています。しかしながら、ホテル・旅館業界では人手不足が深刻で、急増する観光客に対応できるかがホテル・旅館業界の喫緊の課題であるとお聞きました。

我々が提供する「QRHOTEL」は、単純で煩雑な仕事を自動

化し、人手不足問題解決につながる点に興味を持ってくださる来場者も多くいらっしゃいました。

2. 東京海上日動と共催でインバウンドビジネス勉強会を開催

9/19、名古屋の東京海上日動ビルでインバウンドビジネス勉強会「WeChatがインバウンド売上拡大のキラーコンテンツに～WeChatを活用した中国人向けインバウンドビジネス」を開催し、中部地方のホテル・旅館業界を中心に約50名の観光関係者にご参加いただきました。

パートナー企業であるテンセントのクラウド事業開発部アカウントディレクター林春暁氏によるWeChatおよびミニプログラムの紹介から始まり、イー・ビジネス花による中国人向けインバウンドビジネスの動向ならびにQRHOTELをはじめとするインバウンドソリューションの紹介、ホテルコンファクトの運営企業である途益グルー

ブ徐炯副社長による QRHOTEL 導入経験談、共同ピーアール
井口了太氏による観光産業におけるレピュテーションマーケティング
とリスクについての話が続きました。

2018 年の観光庁のデータでは、セントレア（中部国際空
港）の中国人観光客の入国数は全体の 42%で全国の観光
客における中国人の割合 37%を上回っており、中部地方は中
国人観光客に人気の高い地域であることを裏付けています。9
月 20 日に供用を開始した LCC 向けの第 2 ターミナルも中国

をはじめとするアジアからの観光客の訪問数を増やし、中部地方
のインバウンドをさらに盛り上げてくれると予想されています。

最後に交流タイムで多くの方とお話をするなかで、地方都市の
観光資源や宿泊施設がまだまだ多く眠っていることを改めて認識
しました。そうした状況の中で、増え続ける外国人観光客とどのよ
うに接点を作り、魅力をアピールできるかが各観光地や宿泊施設
の課題となり、QRHOTEL が活用される場面でもあります。

今月の写真

※上段左からホテル・旅館業界 IT & リノベーション展示商談会の様子（那覇市内にて）



※下段左からインバウンドビジネス勉強会の様子 1、2（名古屋東京海上日動ビルにて）



【会社概要】

会社名：株式会社イー・ビジネス 設立：2007 年 6 月

代表者：代表取締役社長 花 東江

所在地：東京都港区芝 2-28-8 芝 2 丁目ビル 10 階

資本金：8,800 万円（資本準備金含む）

従業員数：236 名

事業内容：システム開発事業 IT ソリューションサービス事業（中国先進企業とのアライアンスサポート）



【内容に関するお問い合わせ先】

株式会社イー・ビジネス PR・広報室 陳（ちん）

TEL：03-6809-3235 FAX：03-6809-3238 E-mail：chenyiyin@e-business.co.jp